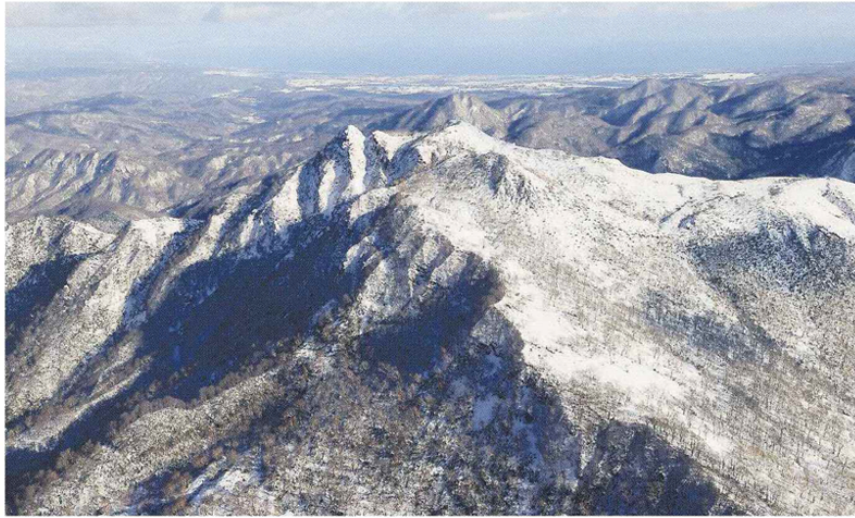




年 組 名前

道南では初の日本山岳遺産に認定された雄鉾岳
＝2024年12月10日、八雲町（本社ヘリから、野沢俊介撮影）



雄鉾岳 山岳遺産に

【八雲】日本山岳遺産基金（東京）は17日、八雲町内の雄鉾岳（999㍎）を日本山岳遺産に認定したと発表した。同基金はこれまで道内七つの山を含む国内51カ所を認定しているが、道南は初。同基金は来年度、申請した地元山岳会の八雲ワンダーフォーゲルに登山道整備の活動費を助成する。

道南初認定 登山道整備など評価

同基金は、登山専門誌などを発行する出版社「山と溪谷社」（東京）などが2010年に創設した。山岳の自然や文化を次世代に残すため、山岳遺産の認定を行った上で各種取り組みを行う団体に助成金を出している。

今回雄鉾岳を遺産認定した理由について、同基金は「（八雲ワンダーフォーゲルが）長年にわたる登山道整備や山小屋の管理を行い、安全登山啓発に寄与している点を評価した」としている。

同基金によると25年度は7件の応募があり、9～10月、外部のアドバイザー5人の意見を参考に審査した結果、認定は雄鉾岳1カ所になったとい

う。八雲ワンダーフォーゲルは来年2月、東京で開催予定の認定式と日本山岳遺産サミットに出席し、道内8カ所目の認定となった雄鉾岳の魅力と活動の内容を報告する。

これまでの道内の山岳遺産認定地は夕張岳、アポイ岳、美瑛富士、トムラウシ山、黒岳、旭岳、幌尻岳。同基金が助成した事業は、登山道整備、高山植物保護のための調査機器購入、記念誌発行などで今回、八雲ワンダーフォーゲルは「危険箇所、徒渉箇所、足場、ワイヤ等の補助器具を購入し設置する」ことを申請していた。

雄鉾岳は、倒木やササなどが登山を難しくして

いるほか、山頂を目指すルート上に滑落の危険がある急登や足場の悪い沢が複数ある。

八雲ワンダーフォーゲルは、半世紀以上に雄鉾岳の登山ルートを切り開いた。また登山口にある登山者憩いの場「オボコ山の家」の維持管理を町から任せられ、適当な登山ルートを発信し続けてきた実績がある。

鈴木譲代表（84）は日本山岳遺産認定の知らせに「八雲が古里の私たちにとって雄鉾岳は象徴。その山が日本山岳遺産に認められ、大変うれしい。この古里の良き風景をずっと残せるように活動したい」と話している。

（椎名宏智）

八雲ワンゲル「古里の風景残したい」



道新でワークシート

年 組 名前

(1) 雄鉾岳は、北海道で何カ所目の山岳遺産認定になりましたか。

(2) 山岳遺産認定した理由について書き抜きましょう。

(3) 山岳遺産認定の目的の一つに、「山岳の自然を残す」がありますが、皆さんができることを考えて一つ書きましょう。

私ができることは、 ()